

令和6年度 みやぎ地域復興支援助成金 採択団体一覧（50音順）

番号	事業者名	事業名	事業の内容	主たる活動地域 (市町村名)
1	あおい地区会	高齢者見守り及び生きがいがづくり事業	防災集団移転地で高齢者が多く暮らし（高齢化率約31.3%）、また独居世帯（日中独居含む）も多く（約12%）住民が住民を見守る体制の維持継続が不可欠です。 事業1：高齢者、独居世帯中心の見守り活動 事業2：あおい農園の運営 事業3：あおい地区の連携と情報発信および独自イベントの検討・開催 ①地域情報（あおい通信）の発行 ②あおい地区連携協議会開催 ③各種イベントの開催（夏まつり等）	東松島市
2	特定非営利活動法人アスイク	震災後に増加している不登校の子どもたちの居場所づくり	・実施内容： 居場所支援/日中に自由に過ごせる場所を通して、精神状態の回復、社会性の習得、社会参加などを行う。 訪問支援/拠点まで来ることができない子どものために、自宅等に訪問して関係を構築する。 就労支援/就労ニーズのある子ども・若者のために、個別に就労に向けた支援と就労継続の支援を行う。 ・場所：泉中央、仙台駅東口、長町 ・開所時間：各9:00～17:00 ※各会場週4日開催 ・対象：小学生高学年から概ね20歳程度	仙台市
3	市民公益活動団体石巻キャリア教育推進ネット	放課後読書会から広がる地域の居場所作り	1 放課後読書会の実施 ①拠点での実施：月・火・木 ②蛇田小学校で実施：水 2 保護者相談会の実施 週1回：金 3 親子モノづくりイベントの実施 年間2回：9月、2月を予定（科学、食育）	石巻市
4	NPO法人いろどり・みんなのみち	サードプレイス「キミいろ」～地域で培うみんなの居場所づくり～	1. 地域子ども食堂（仮名） 目的：地域の子どもとその保護者に安心できる居場所と食事を提供。保護者同士で学校や家庭における悩み事の共有、相談も図る。 内容：月1回、地域ごとに市民センターor地区公民館を全室借用。1回当たり30名を目標に実施。子どもたちにも料理に携わる。 2. 宿題等を含む学習支援 目的：学習定着率の増加。子ども同士での学び合い。 内容：上記食堂内で、学校の課題や当法人で用意するドリル、市図書館協力による読書、パソコンでのプログラミング教室を実施。 3. 体験教室や講話、遊び場 目的：孤独の解消。家庭でのストレス解消。様々な体験活動や講話を通して、他者とのつながりや世代間・親子交流を促進。 内容：上記食堂内で、誰もが参加可能できるスポーツや講話を実施。他の部屋では自由に遊べる場を提供。当法人で遊び道具も用意。	東松島市
5	一般社団法人ウィーアーワン北上	被災元地活用による市民緑化活動「平地の杜づくり」を通じた新たなコミュニティづくり	上記課題を解決する目的で、以下2つの事業を実施する。 事業1：コモンズ（地域共有の財産を共同利用する仕組み）の基盤づくり ※①～③昨年度継続事業、④今期新規事業 ①コモンズの空間となる被災元地の日常的な緑化活動 ②被災地域住民、その他の外部者がつながる場「きたかみ園藝部」活動と広報誌「平地の杜だより」の発行 ③平地の杜づくりイベント開催 ④被災者の花苗（宿根草）育苗栽培や平地の杜を含め花苗植栽活動を4地区に拡大。 事業2：被災住民の共通目標づくり ※今期新規事業 具体的施策：①環境省30by30自然共生サイトへの認証を目指した平地の杜整備活動	石巻市
6	一般社団法人雄勝花物語	雄勝ローズガーデンを拠点にした住民交流支援継続事業	【解決すべき課題①】の事業 事業1. 交流拠点「雄勝ローズガーデン」を被災者が自らが整備することを通して、被災者の交流を深める事業。 事業2. 雄勝地区と大川地区において植栽活動を通して、被災者の交流を図る事業。 事業3. ワークショップ、ガーデンコンサートの開催を通して、被災者の交流を図る事業。 【解決すべき課題②】の事業 事業4. 「手作り会」の開催を通じた高齢者の生きがいがづくり事業。 事業5. 地域外ボランティアとの協働緑化作業・昼食づくり・交流会による健康促進と生きがいがづくり事業。	石巻市
7	任意団体otonari	食を通じた地域のみまもり・世代を超えてつながる場づくり	事業1：孤食防止とつながりづくりを目的としたシェアテーブル 具体的施策：地区内のコミュニティスペースを活用し地域住民と共に食卓を囲む地域食堂 事業2：公営住宅自治会内のコミュニティづくりを目的とした活動・運営へのサポート支援 具体的施策：事業1にて関わりのある自治会の運営課題や自治会活動に対し、団体として第三者視点からの独自サポート活動	気仙沼市

令和6年度 みやぎ地域復興支援助成金 採択団体一覧（50音順）

番号	事業者名	事業名	事業の内容	主たる活動地域 (市町村名)
8	おらほの家プロジェクト	牡鹿半島地区での心と身体の支援事業	①拠点施設「おらほの家」を使っての送迎付きサロン活動。 ②個別訪問や電話などでの見守り。 ③地域作りや公的機関等との連携協働。	石巻市
9	一般社団法人おりがみ	被災地の現状課題の発掘と地域づくりと子育て支援によるピアサポート地域活性化事業	①被災地において不足している地域と子育ての繋がりへのきっかけ・居場所づくり ②被災地域の核家族や世帯の健康維持や就労支援のためのスキルアップ・交流時に子どもを預かる「出張託児」 ③地域コミュニティ再生・孤食防止・防犯を目的とした「こども食堂」運営 ④鹿折災害公営住宅での対面によるコミュニティー・子育て・交流の有無・課題やニーズの聞き取りアンケート実施 ⑤鹿折災害公営住宅を会場にしての大規模なマルシェ開催	気仙沼市
10	一般社団法人カリタス南三陸	コミュニティ支援と第一次産業支援	1)コミュニティ支援事業 ①個別訪問 約80世帯（志津川地区、戸倉地区、歌津地区などへ震災後、高台移転に伴い孤立されている方々へ個別訪問を通して傾聴を行い下記②③④の再開の時期を判断していく） ②お茶っこサロン（志津川地区） ③地域コミュニティ再生イベント（草木染め体験、新米おにぎりの会、クリスマス会、小さなたがい市など） ④保養行楽（志津川地区、歌津地区、障がい児施設、幼稚園の方で高台移転先で点在している高齢者や障害者、子どもなど生活弱者を対象に、お花見や紅葉狩り、田んぼ遠足、川遊びなど） 2)第一次産業支援（被災された漁業従事者と農業従事者への寄り添い）約12世帯 ボランティアの少ない時期にも個別訪問を通し傾聴して寄り添っていく。	南三陸町
11	一般社団法人気仙沼あそびーばーの会	被災した子育て世帯の居場所支援～大丈夫、つながってるよプロジェクト～	事業1：常設の遊び場「気仙沼あそびーばー」と「プレーパークけせんぬま」の運営 具体的施策：①「気仙沼あそびーばー」を毎週水～日曜日10時-17時（季節毎に変動）で運営。②「プレーパークけせんぬま」を毎週末1回 10時-17時で運営。 事業2：子ども食堂「ほしぞら食堂」と「未来食堂」の実施 具体的施策：①「ほしぞら食堂」を毎月1回、2～3時間程度で実施。②「未来食堂」を毎月2回（隔週）、2時間程度で実施。 事業3：「おさがり服コーナー」の実施 具体的施策：乳幼児～中高生サイズまで、持ち込み・持ち帰り自由の子ども服コーナーの実施。 事業4：個別相談事業 具体的施策：支援対象者のヒアリング及び情報共有を実施し、外部専門機関との情報共有等の連携を行う。また、生活する上で不足している日用品を配達する等、日常的な対応も行う。 事業5：困窮等の子ども支援学習会の開催 具体的施策：保護者・学校関係者・保育関係者・NPO関係者を対象に、貧困等の困難を抱える子ども支援を学ぶ学習会を実施。学習会テーマ「夏休み等の長期休みにおける食の欠食や飢餓、自死の予防について」（天野秀昭氏招聘予定） 事業6：地域内広報誌の発行とSNSの発信 具体的施策：地域への広報誌を大谷地区と新月地区内の幼稚園・小中学校等へ1000部程度毎月号発行。SNS（FacebookやInstagram等）を活用して、活動内容等を発信。 事業7：気仙沼居場所ネットワークや他団体との連携 具体的施策：気仙沼市内の子ども支援団体とのネットワーク会議に毎月1回参加し、子育ての現状等について情報共有等を実施。また、他団体や自治体と情報共有・施策の推進等の協議を随時実施。	気仙沼市
12	特定非営利活動法人こども∞感ぱにー	多様な学びと『不登校』児童生徒の孤立を防ぐサポート事業	◆フリースクール開催 開催日時：毎週火・木・金曜 10：00～18：00 ・地域住民との交流や連携。多様なまなびの機会を創出 ・下半期から週4日開催に向けたHPやパンフレットの変更、関係機関への周知 ・フリースクールと子どもと保護者の相談事業を展開 ◆専門機関や教育機関と連携 必要に応じて各専門機関と連携。不登校一人ひとりに適した処遇対応を行うことで、社会的自立をサポート 市教委が開催する各種会議や、2023年度から開所する『教育支援センター』委員会などで、市内の不登校課題について協議	石巻市
13	一般社団法人コミュニティスペースうみねこ	地域伴走型支援	事業1 世代間交流ができるようなイベントなどの計画と実行 ① 昨年に続き高齢者が盛んにしている『ベタンク』というものを教えていただき交流の場作り ② 地域祭りとこども祭りを合わせ開催していく 事業2 集会所の活用化 ① 定期的な集会所の活用化（継続的なクラフトの作成会やお茶会なども含む） ② 様々なジャンルのワークショップを開催し新規参加者を増やして行く 事業3 地域内の交流の活性化 ①見て、参加して楽しめるイベント活用（どの方も参加できるような企画作り	女川町

令和6年度 みやぎ地域復興支援助成金 採択団体一覧（50音順）

番号	事業者名	事業名	事業の内容	主たる活動地域 (市町村名)
14	公益社団法人3.11メモリアルネットワーク	宮城県広域の伝承コミュニティ活性化と防災・伝承の持続可能性向上の挑戦	東日本大震災の復興の象徴とされる石巻南浜津波復興祈念公園周辺が、宮城県内の伝承の担い手のつながりを深める場となり、被災者自身がやりがいを感じながら住民主体の取り組みのモデルとして発信出来る場として位置付けてゆく。 また、県内の学校の祈念公園周辺への訪問を促し、震災を直接体験していない世代にも命を守る自主的な行動を促す地域環境を形成していく。更に、教育旅行・企業研修の受入、顧客視点のWEBサイト構築、企業への営業等により防災・伝承活動の持続可能としてゆくよう取り組む。 ①宮城県内被災地からの祈念公園周辺への語り部招聘による広域伝承コミュニティ活性化 ②宮城県内学校の次世代への祈念公園周辺での防災教育機会創出および伝承施設での来訪者対応 ③MEET門脇を核として祈念公園・震災遺構を活用した教育旅行・研修受入による持続可能性向上のための挑戦	石巻市
15	特定非営利活動法人ちびぞうくらぶ	親と子、地域のためのつながりづくり～共育ち・共育て～	事業1：コミュニティの拡がり求め、ワークショップを開催する。 具体的施策：①他県からの被災住民が市内で豊かな暮らしを送れるようバス遠足を実施し、情報提供を行う。 ②同郷の親同士をつなげることで支え合い励まし合いながら生活できる。 事業2：被災跡地を再建した“市民農園”での作物の植え付け・収穫 具体的施策：①被災者を「はたけの先生」と称し、一緒に季節の野菜を育て、加工にも取り組む。 ②震災当時の話を若い世代に繋ぎ、伝承させていく。	岩沼市
16	特定非営利活動法人東北の造形作家を支援する会	令和6年度 SOATにじいろばれっと「心の復興・いしのまき雄勝」	○事業1：ものづくりアートワークショップの開催（雄勝公民館、小島集会所、船越集会所、荒集会所、味噌作集会所） 具体的施策：①公民館、集会所での「ものづくりアートワークショップ」の開催 ②世代間交流アートワークショップの開催 ○事業2：「お手伝いボランティア」活動 具体的施策①ものづくりアートワークショップ事前準備 ②オールおがつアートワークショップ「おがつ物コシェール」運営 ○事業3：オールおがつアートワークショップ「おがつ物コシェール」の開催（雄勝町住民とワークショップで雄勝を応援する作家の作品展示とものづくりワークショップ）	石巻市
17	特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台	地域映像を使用した被災地域住民によるコミュニティ活動の促進事業	被災地域の高齢者へ向けて以下の内容で事業を実施する 1. 概要：地域映像を使用した上映会を被災地の地域住民が自分達で行える様、映像コンテンツの提供、開催にむけてのマニュアルの作成、実施の際のサポート等を行う 2. 会場：県内被災地域5か所の復興公営住宅集会所または地域公民館等 3. 対象者：復興公営住宅及びその近隣の高齢者施設や地域住民の方々（主に高齢者） 4. 回数：各会場ごと月に1回、定期的に全3回開催、その後住民の手による自主的な上映会開催のサポートを1回行う 5. 内容：「昔を語る会」・・・懐かしいをテーマにした10のコンテンツの中から地域住民と内容を協議し選定 6. 連携：地区の社会福祉協議会、支援団体、町内会、まとめ役となる地域住民の方々と連携・協力を得ながら実施 7. 提供：住民の方々による自主開催の為のマニュアル作成及び素材の提供（無償貸し出し）	気仙沼市
18	特定非営利活動法人のさり	心の復興支援「サロン交流：ポッチャで体も心も健康に」	事業1。サロン活動の支援 渡波地域でサロン活動を継続している〇〇地区（例えば万石浦・黄金浜・千刈田）に出かけてポッチャを活用した支援をする 月4回程度 地域コミュニティ向上に向けて、よりポッチャを活用できるように研修を受ける 事業2。住民が主体的に活動する場づくり 石巻住民に講師になってもらい「盆踊り」「工作会」「渡波の歴史探検」などで学びあえる機会を創る。年3回（夏秋冬）程度 事業3。音楽活動でコミュニケーション 心穏やかに落ち着いた居場所を創る 地域住民を招待して「心の復興音楽会」を行う。年1回	石巻市
19	一般社団法人Bird's-eye	続・災害公営住宅に子供達の元気を届けよう 花で繋がる心の交流	事業1：継続事業で七ヶ浜・お茶っこ会/子供たちとの交流の継続と、高齢化の引きこもりを防ぐための畑で野菜作り。 具体的施策：①醍醐小学校6年生の修学旅行（6月26日水曜日予定）を始め今年度七ヶ浜・松ヶ浜「お茶っこ会」との心の交流の継続事業/昨年度交流のあった佐野日大ボランティア学生とのお手紙交換やりモートで交流の継続。 ②お茶っこ会会員の松野さんの畑を活用し、畑での野菜の栽培を定期的に行いその野菜を収穫・活用したランチ会を楽しむ。 事業2：塩竈市・塩竈市宮清水沢東住宅/大学生と交流するための交流サロン会の実施。 具体的施策：①県内のボランティアサークルメンバーと災害公営住宅住民との交流サロン会の実施。管理栄養士を目指す学生と被災経験を持つ住民がサロン交流で得た災害時に役立つメニューを考え、試作して試食会を行う。 ②学生と住民と一緒に、公営住宅内での花壇作り等、交流を屋外で行う。 ※共通事業：石巻南浜の花壇の手入れと、花の育成。この場所で育てたあいりちゃんの花を引き続き交流活動に活用する。	七ヶ浜町
20	一般社団法人はまのね	被災過疎漁村における世代を超えた交流の場づくり及び地域文化の収集・再評価と継承	事業1：地域交流の場づくり ①季節の食材を用いた各家庭料理の持ち寄り会と地域文化の勉強会 ②多世代間交流を目的としたお茶飲み会 ③浜料理教室 事業2：地域文化の聞き書きと編集・情報発信 ①住民の聞き書き ②冊子の作成 ③インターネット媒体での発信	石巻市

令和6年度 みやぎ地域復興支援助成金 採択団体一覧（50音順）

番号	事業者名	事業名	事業の内容	主たる活動地域 (市町村名)
21	特定非営利活動法人ばんぷきんふれあい会	復興公営住宅入居者とその周辺住民の顔の見えるセーフティネット構築事業	事業① 復興住宅入居者とその周辺に居住する住民が交流できるサロンやイベントの開催、見守り活動などの実施（孤立・孤独防止、住民間のつながり支援） 具体的施策：対象エリアの集会所等においてふまねっと運動教室のほかアートワークやモノ作り教室等の定期交流会を開催並びに集いの場に参加することが難しい方については見守り巡回支援の実施 事業② 交流会等で関わる地域住民を対象としたボランティア人材の養成（ふまねっとサポーター養成講座もしくはフォローアップ研修会の開催） 具体的施策：ふまねっとサポーター養成講座・フォローアップ研修会の開催 事業③ ボランティア人材へ活動継続を目的としたフォローアップ（住民互助力強化） 具体的施策：ふまねっとサポーターとしての実践機会の提供及び他地区で活動するふまねっとサポーターとの交流による学びあいの機会の創出	石巻市
22	特定非営利活動法人東日本ネットワーク手にぎり隊	高齢化の進む公営住宅被災者の懸念を解消し安心して生活する為のコミュニティサポート	事業1. 認知症の予防対策 ①楽しみながらゲーム、指先を使う工作等を行う ②専門家を招き勉強会をもうける ③生活の見直しなどや生活習慣病のワークショップを企画する 事業2. 他の住宅との交流 ①4住宅住民や町内会の人達と一緒に活動すること多くの人達との交流を深める機会をつくる 事業3. 心の安定と健康維持 ①毎回交流会の際リズム体操を実施。ゲームなど楽しみながら身体を動かしたり、専門家による栄養アドバイス等を行う ②音楽、川柳コンテスト等色々なテーマで交流会の企画から自主的に参加してもらうことでやりがい、生きがいを見つけてもらう ③交流会以外での相談も引き続き行い心の安定を保てるよう手助けを行う	多賀城市
23	一般社団法人フードバンクいしのまき	被災者の生活再建支援事業と広域での交流活動への食品提供事業	事業1：地域資源と連携した被災者の生活再建支援事業 具体的施策：①県内の生活・就労・障がい・高齢など各相談機関からの要請により、被災世帯へフードバンク食品の無償提供を行う。 ②就業機会が失われている県内在住の「ひとり親世帯」に対し直接支援を行い、各地域の生活相談に繋げる 事業2：県内広域でのフードバンク食品の無償提供事業 具体的施策：①県北部の沿岸地域で地域交流活動を実施している団体へ対し、フードバンク食品を無償提供し活用してもらう ②連携しているフードバンク団体を通じ、県南部の沿岸地域の地域交流活動実施団体へ対し、フードバンク食品を提供する	石巻市
24	フードバンク気仙沼	被災者支援と自立支援のための事業	1. 災害公営内の自治会事業と連携した物資支援 具体的施策 ①災害公営内の自治会と協議し、防災訓練や夏祭り等の自治会事業開催時に物資を支援する。 2. フードロス減少強化月間を設置し物資支援 具体的施策 ① 令和6年10月～12月の3カ月間を「フードバンク気仙沼フードロス減少強化月間」とする。 ② 各災害公営に対し、物資支援を実施すると共に、「フードロス減少月間チラシ」を作成し節約協力をお願いする。 ③ フードバンク祭りを開催し、フードバンクの活動とフードロス削減を宣伝 ④ フードポストの増設（5か所） 3. 地域・子ども食堂と連携し災害公営の住民の方々に手作り弁当を届ける 具体的施策 ① 出来るだけフードバンク物資を使用し、災害公営住民の方々と一緒に調理する。 ② 配達はすべて災害公営住民で行う。	気仙沼市
25	一般社団法人フリースペースつなぎ	不登校・ひきこもりの子ども・若者の居場所作り	①不登校・ひきこもりの子ども・若者の居場所・学習支援事業（週5日） ②若者の就労に向けた自立支援及び生活支援 ③家庭への支援事業 家族を対象とする相談・面談・家庭訪問・電話相談（随時） ④地域の人を対象とする懇談会・相談会（月1回 公民館） ⑤不登校・ひきこもりに関する講演会・学習会など（年に3～4回） ⑥会報・ホームページ・SNSなどによる啓発活動	気仙沼市
26	一般社団法人ボランティアステーションin気仙沼	被災地域の孤立・孤独を防ぎ、安心・安全に暮らせる地域防災・コミュニティ活性化事業	①被災地域や被災した方を受け入れた地域での「見守りサロンコミュニケーション麻雀」及び、公民館などで被災した方を含めた広域での「コミュニケーション麻雀大会」、災害公営住宅や防災集団移転団地での「傾聴活動」の実施 ②被災地域や被災した方を受け入れた地域自治会の運営支援及びコミュニティ形成や防災意識を促すサロン活動やバザーなどのイベント開催サポート ③交通弱者の多い災害公営住宅高齢者を対象とした「買い物支援」及び「イベント参加支援」の実施 ④災害公営住宅にてミニコミ誌「ベンのとびら」の発行 ⑤南気仙沼・鹿折のまちづくり協議会運営支援及び災害公営住宅との交流促進 ⑥内外に対しての防災教育・防災訓練及び防災語り部の実施。気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館でのサロン活動や来館者との交流イベント支援。 ⑦支援者情報交換会への参加及び運営サポート。NPO法人手にぎり隊との情報共有及び連携イベントの実施。	気仙沼市
27	みやぎ青葉の会（宮城県クレジット・サラ金問題を解決する会）	東日本大震災の被災地域における、弁護士・司法書士による法律相談支援事業	事業1 弁護士・司法書士等による法律相談。 ・県内各地の公共施設等に弁護士・司法書士等が出張して、東日本大震災被災者を主な対象とした無料法律相談会を開催。 ・相談内容は、多重債務相談、災害援護資金の返済に関する相談、一般法律相談その他労働、生活全般にわたる相談。 ・1日につき弁護士・司法書士各1～3名、一般相談員1～2名程度が参加。 ・新型コロナウイルス感染症・インフルエンザウイルス等感染症の拡大を防ぐため、人数限定の事前予約制とする。	仙台市